

令和 7年 1月20日

足立区立第十一中学校
校長 高田はつほ 様

足立区立第十一中学校 開かれた学校づくり協議会
会長 大神田 邦夫

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

今年度は「文科省リーディングDX連携協力校」「足立区ICT推進研究校」として、一人一台端末の活用をはじめとして新たな取組を始めたことは評価に値する。

「先生も生徒も みんなで デジタルアップデート十一中」のスローガンのもと、全校体制で行えたことは、GIGA スクール構想の実現のみならず、あらゆる教育活動で、良い効果をもたらしたと考える。生徒や保護者の学校評価結果も肯定的な意見や数値になっている。来年度もこの取組を継続させていくことを望む。

学校行事では、運動会において、保護者・生徒の意見を反映して、学年種目・生徒会種目を新たに実施するなど、前向きに取り組んだ。学芸発表会も、体育館の面積が狭いという物理的な制約があっても、他学年の合唱を聞いたり、全校で発表を楽しむ時間を設けたりと、随所に工夫が見られた。

また、学習面においては、生徒による授業アンケートの結果から、足立スタンダードの徹底やICT機器活用は高評価を得ている教員がほとんどである。数値結果は出せなかったが、今後も授業改善や教材等の開発を進め、生徒に基礎基本的な学力の定着及び、主体的で協働的な学びを実現してほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

保護者の学校評価は概ね良好であった。昨年度は「キャリア教育」に関する肯定的な意見が54.6%と、決して高くはなかったが、今年度は78.9%と大幅に上昇した。外部からの講師を招いた講演会や、専門学校の協力を得た職業体験等の新しい取組が高評価につながったと考える。

「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒は87.1%と、昨年度よりやや上昇した。受験期を迎えた3年生は89.1%と、最も数値が高く、良い傾向であると考えられる。

今年度の取組から成果と課題を考え、次年度に向けて学校経営方針を策定してほしい。

3 その他

部活動では、今年度も関東大会、都大会へ出場する部もあり、十一中学校として誇れる活躍が見られた。様々な教育活動に対する先生方の日々の指導に感謝する。

本協議会は、学校を支え、支援する会であり、これからも生徒のために、学校と連携し、支援していきたいと考えている。